

GSU011-06

会場:展示ホール7別室2

時間: 5月23日14:49-15:02

ふるふる立体震源地図の作成

Wiggle stereo method for 3D seismicity maps

岡本 義雄^{1*}

Yoshio Okamoto^{1*}

¹大阪教育大附属天王寺高

¹Tennoji Highschool attached to OKU

最近Webサイトで流行の“ふるふる動画”の手法を取り入れた立体震源地図を開発した。これは以前の3D眼鏡(ChromDepth 3D Glasses)を用いた立体地図(岡本, 2008)を改良したもので、一般の両眼で見るステレオ地図を時間差で表示するようにしたGifアニメ形式を採用した。従来のような特別なめがねなしで、一般のPC画面上で擬似立体的に震源分布の構造を見ることができる。ステレオ地図の作成には以前の手法で用いたGMTバージョンのほかにレイレーシングソフトであるPovRayバージョンも作成した。両者の出来栄は一長一短である。データや作成方法は以前のバージョンとほとんど同じであるが、震源地図作成時に、震源データの東経値に深さに依存した正負のオフセット値を与えて、左右の視差を表現した。東経のオフセット値と地図の表示切替時間などはまだ試行錯誤中である。アニメーションGif作成には汎用画像ソフトGimpを用いた。従来バージョンでは難しかった、垂直な活断層上の震源分布などもある程度立体に見せれるようになった。ただ、地表の地図をどう重ねて表現するかなど今後の改良点も多い。また当然ながらPC画面を用いないと立体に見えない点は欠点もあるが、一般への普及に用いれば珍しい画像効果もあって興味を引くと思われる。

キーワード:ふるふる,立体,震源,地図,アニメーションGIF, GMT

Keywords: wiggle, map, seismicity, animation gif, stereo, GMT